

産官学連携組織である「くまもと地域基盤政策研究所」が発足しました。

2月16日に県内建設関係7団体と熊本大学工学部社会環境工学科で組織された「くまもと地域基盤政策研究所」が発足しました。当研究所は、産学官の技術者・研究者が有する知見を結集・連携・融合させることで、熊本地域における技術力の向上や活性化を図り、地域に根ざした「元気で明るい熊本づくり」を推進することを目的としています。また、産学官が連携する新たな仕組みづくりと、その開発された工法などを「熊本モデル」として全国に発信・提案していきたいと考えています。

その発足式では、谷口功 教授（熊本大学工学部長）、七條牧生 氏（熊本河川国道事務所所長）、工藤浩則 氏（熊本県土木審議員）、松原茂 氏（熊本県建設技術センター理事長）を来賓として迎えて挨拶をいただいたあと、岐阜大学工学部の八嶋厚 教授に岐阜社会基盤研究所の活動について、熊本県土木部主幹の元田耕精 氏と主任技師の猪野伸也 氏に熊本県新技術新工法について講演していただきました。



その後の交流会では、社会環境工学科の教員と研究概要を紹介した資料が配布され、それをもとに産学官の技術者・研究者の間で積極的に意見交換がなされました。交流会は大変な盛り上がりを見せました。

なお、「くまもと地域基盤政策研究所」の発足は西日本建設新聞によって報道されました。



